

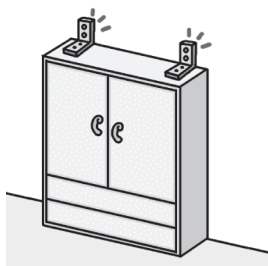
地震に備えて「家の中の安全点検」をしましょう

家具が転倒するとけがをしたり逃げ道がふさがれたりするおそれがあります。家具の転倒防止対策や配置の工夫などで被害を減らしましょう。

家具の「転倒や落下」を防ぐ ☒

☐ 「L字金具」などを利用する

たんすなど背の高い家具は、L字金具で鴨居や裏に間柱のある壁などに固定します。家具と天井の間に設置する突っ張り棒タイプの器具もあります。



☐ 「開放防止器具」などを利用する

食器棚などの扉に開放防止器具を取りつけましょう。また、棚板に滑り止めシートを敷いたり、飛び出し防止枠をつけたり、ガラス部分に飛散防止フィルムを貼ったりするのも効果的です。



☐ 「ストッパー」などを利用する

家具の下部前方に、くさび状のストッパーを挟み込み、家具を壁面に傾斜させます。背の高い家具の場合、単独の使用では効果が低いのでL字金具などと併用しましょう。



☐ 「チェーン」などを利用する

1本のコードでつるす照明器具は、チェーンなどで3か所以上留めて補強しましょう。照明器具は天井に直接取りつけるタイプがより安全です。



●冷蔵庫やテレビなど家電製品には、専用の転倒防止器具が用意されていることもあるので、説明書を読んで活用しましょう。

「収納や配置」を工夫する ☒

☐ 重い物は下に収納する

重心を安定させるために、重い物は下に、軽い物は上に収納しましょう。また、なるべく棚にすきまをつくらないようにします。



☐ 出入り口や通路に物を置かない

出入り口や通路をふさぎ、避難のさまたげになるような場所には物を置かないようにします。家具を置くときは倒れたときに備えて向きも考慮しましょう。



☐ 寝室は家具を減らす

特に、子どもや高齢者、障がい者などが就寝中に倒れた家具の下敷きにならないように、なるべく寝室には大きな家具を置かないようにします。



☐ 家具の少ないスペースをつくる

いざというときに、家族が家具の転倒や落下を避けて集まることができる、家具のない（または少ない）安全なスペースを確保しておきましょう。

